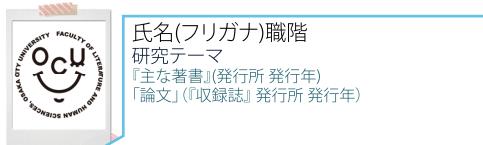


教員紹介

文学部の先生を完全網羅!!
君は誰と学ぶ?



哲学歴史学科/哲学歴史学専攻

哲学コース/哲学専修

美濃 正(ミノ タダシ)教授
現代英米の心の哲学および形而上学
共編著『デカルトをめぐる論議』(京都大学学術出版会 2013)
『これが応用哲学だ!』(大蔵書店 2012)

仲原 孝(ナカハラ タカシ)教授
宗教学。宗教と哲学の関係。カントやハイデガーを中心とする近現代ドイツの宗教哲学の研究
『ハイデガーの根本洞察』(昭和堂 2008)

高梨 友宏(タカナシトモヒロ)教授
ドイツ近現代美学、近代日本の芸術論
『西洋近現代美学の一概論』(加国尚志・平尾昌弘編著)『哲学の眺望』(見洋書房 2009)

土屋 貴志(ツチヤ タカシ)准教授
倫理学、医療倫理学(現代医療に関する倫理的諸問題の研究)、人権問題研究
共編著『現代医療の社会学』(世界思想社 2010)

日本史コース/日本史学専修

塙田 孝(ツカダ タカシ)教授
日本近世史。とくに近世身分制の研究、大阪の都市社会史
『近世身分社会の捉え方——山川出版社高校日本史教科書を通して』(部落問題研究所 2010)

仁木 宏(ニキ ヒロシ)教授
日本中世史。都市史、地域社会史。現在はとりわけ、室町~織田・豊臣期の、全国の港町、城下町に興味をもって研究している
『京都の都市共同体と権力』(思文閣出版 2010)

佐賀 朝(サガ アジタ)教授
日本近現代史、特に近代大阪の都市社会史・地域社会史、近年は近世~近代の遊廓社会史も
『近代大阪の都市社会構造』(日本経済評論社 2007)
共編『シリーズ遊郭社会 1 三都と地方都市』(吉川弘文館 2013)

岸本 直文(キシモト ナオフミ)准教授
日本考古学古墳時代の研究、現在は、畿内と各地の古墳時代について、前方後円墳形態分析を通じて、古墳時代における政治的な動向を探ることを目指している
『史跡で読む日本史 2 古墳の時代』(吉川弘文館 2010)

磐下 徹(イワシタトオル)講師
日本古代史(郡司制度の研究、古記録の註釈)
『郡司譜第考』(ヒストリア)第227号、大阪歴史学会 pp.1-27 2011)

世界史コース/東洋史学専修

井上 徹(イノウエトオル)教授
中国の明清時代及び近代を中心とする社会史。特に中国の家族、宗教、民族、都市、交易の諸問題の探求
『海域交流と政治権力対応』(汲古書院 2011)

平田 茂樹(ヒラタ シゲキ)教授
中国近世史、科举、官僚制を中心とする政治構造の歴史
『宋代政治構造研究』(汲古書院 2012)
『宋代政治結構研究』(上海古籍出版社 2010)

Q. 市大の名物メニューはある?

言語文化学科/言語文化学専攻

国語国文学コース/国語国文学専修

野村 親義(ノムラ チカヨシ)准教授
近現代インド史
『Selling steel in the 1920s : TISCO in a period of transition』(The Indian Economic and Social History Review, Delhi, vol.48-1, pp83-116, 2011)

上野 雅由樹(ウエノ マサユキ)講師
西アジア・中東近代史、オスマン帝国史
『For the Fatherland and the State: Armenians Negotiate the Tanzimat Reforms』(International Journal of Middle East Studies vol.45(1), pp93-109, February 2013)

大黒 俊二(オグロ シュンジ)教授
中世・ルネサンス期のイタリアおよび地中海世界の社会史、経済史
『声と文字』(岩波書店 2010)
『愛と貪欲—西欧中世の商業・商人観一』(名古屋大学出版会 2006)

北村 昌史(キタムラ マサフミ)教授
近現代ヨーロッパ、とくにドイツの社会史
『ドイツ統一と第二帝国』(小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦編著)『大学で学ぶ西洋史 [近現代]』(ミネルヴァ書房 2011)

草生 久嗣(クサブヒサツグ)講師
ビザンツ史、ヨーロッパ中世史、宗教、問題史、異端学
『ビザンツの『神秘主義』と『異端』』(エクフラッシュ) 第2号, pp.17-27 2012)

人間行動学科/人間行動学専攻

社会学コース/社会学専修

進藤 雄三(シンドウ ユウジ)教授
理論社会学・医療社会学・家族社会学を専攻。現在の主な研究テーマは現代社会理論・医療専門職論・近代家族論
共著『社会学』(医学書院 2012)

石田 恵子(イシタ サエコ)教授
メディア文化研究、映像社会学
共編著『ポピュラー文化ミュージアム』(ミネルヴァ書房 2013)
共編著『ポスト韓流のメディア社会学』(ミネルヴァ書房 2007)

川野 英二(カワノ エイジ)准教授
社会政策の社会学・比較社会学
『大阪市民の貧困感と近隣効果・貧困層は対立しているのか?』(『貧困研究』第9号、貧困研究会 pp.18-29 2012)

伊地知 紀子(イジチ ノリコ)准教授
社会人類学・朝鮮半島地域研究
共著『在日コリアン辞典』(明石書店 2010年)
共著『昔話で学ぶ韓国語中級リーディング』(アルク 2011)
共著『東アジアの間地方交流の過去と現在』(彩流社 2012)

笹島 秀晃(ササジマ ヒデアキ)講師
都市社会学
Hideaki Sasajima, 2012, "From Red Light District to Art District: Creative City Projects in Yokohama's Kogane-cho Neighborhood," Cities, 33,

心理学コース/心理学専修

池上 知子(イケガミ トモコ)教授

社会心理学: 対人認知・偏見とステレオタイプ、社会的アイデンティティと社会システムの関係
『格差と序列の心理学—平等主義のパラドクス』(ミネルヴァ書房 2012)

山祐嗣(ヤマヒロシ)教授
認知心理学: 推論、思考の潜在性・顕在性・比較文化研究
『メンタリティの構造改革—健全な競争社会に向けて』(北大路書房 2003)

川邊 光一(カワベ コウイチ)准教授
生理心理学: 高次認知機能(特に学習・記憶)の脳内機構、精神疾患動物モデルに関する行動薬理学的研究
『Effects of neonatal repeated MK-801 treatment on delayed nonmatching -to-position responses in rats』(NeuroReport, Vol.19, No.9, pp.969-973, 2008)

佐伯 大輔(サエキ ダイスケ)准教授
判断、意思決定、選択、推論
『価値割引の心理学—動物行動から経済現象まで』(昭和堂 2011)

湯浅 恭正(ユアサ タカマサ)教授
教育方法学、生活指導とインクルージョン教育、特別なニーズ教育の授業論
共著『新しい時代の教育の方法』(ミネルヴァ書房 2012)

添田 靖雄(ソエダ ハラオ)准教授
比較教育文化史、教育・学校における話すことと聞くことの研究、いじめ問題の国際比較
『進歩主義教育の終焉—イングランドの教師はいかに授業づくりの自由を失ったか』(知泉書館 2013)
共編著『世界のいじめ』(金子書房 1998)

瀧沢 潤(タキザワ ジュン)准教授
教育行政学、教育制度学。アメリカ合衆国における言語マイノリティ教育政策に関する研究
共著『新しい時代の教育制度と経営』(ミネルヴァ出版 2009)

森久佳(モリヒサヨシ)准教授
教育学(教育方法論、カリキュラム論、教師論)
共編著『どもと関わる』(ピアツ・ソリューション 2013)
共著『教師の仕事と求められる力量』(あいり出版 2011)

大場 明茂(オオバシ タカシ)教授
都市政策とまちづくり、ドイツ地域研究
『ドイツにおける都市再生の新たな取組み——衰退地区からトレンド・エリアへ——』(日本都市学会年報, Vol.44 2011)
共編著『ポスト韓流のメディア社会学』(ミネルヴァ書房 2007)

水内 俊雄(ミズウチ トシオ)教授(兼任)
都市の社会問題・住宅問題・ホームレス問題の現状や歴史的経緯についての社会地理学的研究
共著『モダン都市の系譜』(ナカニシヤ出版 2008)

山崎 孝史(ヤマザキ タカシ)教授
グローバルな政治経済的変動とローカルな政治・社会運動に関する地理学的研究、沖縄研究
『政治・空間・場所——政治の地理学』(ナカニシヤ出版 2013)
共著『東アジアの間地方交流の過去と現在』(彩流社 2012)

祖田 亮次(ソダ リョウジ)准教授
人文地理学、人口移動、資源利用・管理、災害文化、東南アジア地域研究
People on the move : rural-urban interactions in Sarawak, (Kyoto University Press and Trans Pacific Press 2007)

木村 義成(キムラ ヨシナリ)准教授
地理情報システム、保健医療分野におけるGISの応用研究
『Geodemographics profiling of influenza A and B virus infections in community neighborhoods in Japan』(Yoshinari Kimura, et al., BMC Infectious Diseases, 11:36, 2011)

池上 知子(イケガミ トモコ)教授
社会心理学: 対人認知・偏見とステレオタイプ、社会的アイデンティティと社会システムの関係
『格差と序列の心理学—平等主義のパラドクス』(ミネルヴァ書房 2012)

言語文化学科/言語文化学専攻

国語国文学コース/国語国文学専修

村田 正博(ムラタ マサヒロ)教授
古代の文学者たち、人麻呂や家持は詩歌にどんな志を託したか、我々はそれをいかに受け取るか、作品に目をこらして究明
『萬葉の歌人とその表現』(清文堂 2003)

丹羽 哲也(ニワ テツヤ)教授
日本語の意味と文法。普段使っている言葉がどのような仕組みでできており、それが過去から現代までいかに変化してきたかという研究
『日本語の題目文』(和泉書院 2006)

小林 直樹(コバヤシ オオキ)教授
中世の説話伝承文学の研究
『中世説話集とその基盤』(和泉書院 2004)

久堀 裕朗(クボリ ヒロアキ)准教授
近世文学、おもに人形浄瑠璃史の研究
共編著『上方文化講座 菅原伝授手習慣』(和泉書院 2009)

奥野 久美子(オクノ ケミコ)准教授
芥川龍之介など大正時代の小説。特に大衆演芸からの影響について
『芥川作品の方法—素撚の机から—』(和泉書院 2009)

津川 廣行(ツカワ ヒロユキ)教授
ジード、ヴァレー、ブルースト、クロードルなど20世紀フランスの小説や思想の研究
『象徴主義以後—ジード、ヴァレー、ブルースト—』(駿河台出版社 2006)

岩本 真理(イワモト マリ)教授
近世から現代にいたる中国の語彙・語法の変遷。唐話資料にみえる近世中国語の日本における定着と変容
『清代民国漢語文献目録・唐話資料』(学古房(韓国) 2011)

張 新民(チョウ シンミン)教授
現代中国文化論及び映画研究。初期中国映画について、その社会的地位の構築という角度から研究。日中戦争中の上海や華北などの所謂「淪陥区」の映画研究
『サラ・ベルナール——メディアと虚構のミーツー』(大阪市立大学共同出版会 2009)

大岩本 幸次(オオイワモト コウジ)准教授
中国語音韻史、中国古代自書史
『皇極經世解起數訣「聲音韻譜」校異記』(臨川書店 2011)

関 茂樹(セキ シゲキ)教授
統語論、語用論。英語などの言語にみられる形式と意味との対応関係の機能的観点からの研究
『英語指定文の構造と意味』(開拓社 2001)

井狩 幸男(イカリ ユキオ)教授
母語獲得メカニズムの解明に向けた神経心理言語学研究
『子どもの認知と言語はどう発達するか』オーツ、J他著、井狩幸男監修、(松柏社 2010)

山崎 雅人(ヤマザキ マサト)教授
言語構造論、言語情報論。言葉の仕組みをさまざまな面から論じる
『田中 孝信(タナカ タカノブ)教授
文学テクストと大衆メディアとの関係の研究
『ディケンズのジェンダー観の変遷——中心と周縁のせめぎあい——』(音羽書房 鶴見書店 2006)

岩田 彩志(イワタ セイジ)教授
語の意味論を中心として、統語論や語用論を幅広く研究
『Locative Alternation: A Lexical-Constructional Approach』(John Benjamins 2008)

Ian RICHARDS(イアン リチャーズ)准教授
New Zealand literature
『Do-It-Yourself History: A commentary on Maurice Shadbolt's 'Ben's Land'』(Lonley Arts Publishing, Auckland 2011)

古賀 哲男(コガ テツオ)准教授
アメリカ文学(黒人詩研究)
『ヒューズ・ハーレムのシーケンスピア』におけるライト・ヴァースの意味』(『黒人研究』第80号 pp.55-60 2011)

ドイツ語フランス語圏言語文化コース
/ドイツ語フランス語圏言語文化専修
ドイツ語圏言語文化領域

神竹 道士(カミタケ ミチオ)教授
言語学、ドイツ語学、ドイツ語文法理論。特に16世紀以降の標準ドイツ語形成過程を研究
『教科書スタンダード、ドイツ語文法』(新文堂 2011)

高井 純子(タカイ クニコ)准教授
近世文学、おもに人形浄瑠璃史の研究
共編著『上方文化講座 菅原伝授手習慣』(和泉書院 2009)

長谷川 健一(ハセガワ ケンイチ)講師
18・19世紀のドイツ語圏の文化・文学
共著『トナホー河——流域の文学と文化』(晃洋書房 2011)

フランス語圏言語文化専修

津川 廣行(ツカワ ヒロユキ)教授
ジード、ヴァレー、ブルースト、クロードルなど20世紀フランスの小説や思想の研究
『象徴主義以後—ジード、ヴァレー、ブルースト—』(駿河台出版社 2006)

福島 祥行(フクシマ ヨシユキ)教授
ことばと人の間柄の研究、相互行為論、コミュニケーション研究
『都市・境界・アート——コミュニケーション空間の相互行為の生成について』(『URP GCOE DOCUMENT』13, 水曜社 2012)

白田 由樹(シラタ ユキ)講師
19世紀末フランスの文化、メディアとエンターテイナー
『サラ・ベルナール——メディアと虚構のミーツー』(大阪市立大学共同出版会 2009)

多和田 裕司(タワダ ヒロシ)教授
アジア諸地域の文化人類学的研究、現代マレーシアにおけるイスラームと政治
『マレー・イスラームの人類学』(ナカニシヤ出版 2005)
共編著『イスラーム社会における世俗化、世俗主義、政教関係』(上智大学アジア文化研究所 2013)

増田 聰(マツダ サトシ)准教授
ポピュラー音楽研究、都市大衆文化研究、文化所有論(著作権、作者論など)
『聴衆をつくる——音楽批評の解体文法』(青土社 2006)

○ドイツ語フランス語圏言語文化専修
Martin KESTING(マーク・ケスティング)准教授
Laurent BAREILLE(ロラン・バレイユ)准教授

○表現文化専